

暖

D A N

ご自由に
お持ち帰り
ください

2025.AUTUMN
No.10



Contents

- P1 ~ P2 新病院での取り組み
- P3 ~ P4 救急外来のご案内
- P5 PET-CT がん検診
はじめました



中核医療センター・地域医療支援病院

霧島医療センター

新病院での取り組み

病院長 河野 嘉文

本年二月一日のオープンから数か月経過しましたが、今回は新病院での新しい取り組みをご紹介します。

①集中治療室（ICU）の設置

ICUという言葉の方に馴染みがあると思いますが、同じような目的で設置するのがハイケアユニット（HCU）です。両者は保険診療制度の中の区別であり、実際の医療現場での目的や役割は同じで、集中的に監視・治療を行う必要がある患者さんを収容する病棟になります。従来の病院で設置していなかったのは、単純にスペースがなかったことと、配置する看護師数を確保できなかったためであり、当院では以前から重症の患者さんを一般病棟で対応してきました。その場合の問題点は、限られた看護師数で重症から軽症の患者さんを同じ病棟で担当するため、特に夜間や休日など少ない職員で対応せざるを得ない時間帯には、重症患者さんに対応している時間はナースコールがあってもすぐに駆けつけられない現実がありました。今回、重症患者さんをHCUに収容することで、一般病棟の看護スタッフの労力を当該病棟のすべての患者さんに配分でき、入院患者さんへの対応の質を上げられることになりました。もちろん、質の向上は人数だけでなく熟練度も大きく関係します。そのような職場でも同じですが、新人が多い年度前半と慣れてきた後半では全く

同レベルではないのは否定できません。ただ、ヒトを対象とする医療の場合には新人だから気づくこともあり、一概にどちらがいいと言えない面もあると考えております。

②面会制限解除

全室個室の病院を建てていただきましたので、プライバシーに配慮したケアができ、部屋の中で面会してもらう分には他の患者さんへの迷惑になりません。面会者が持ち込むかもしれない感染症による他の患者さんへの伝播の懸念がないため、二〇二五年六月一日から面会制限を大きく緩和いたしました。面会時間を十四時～十九時とし、一度に面会する人数やマスクの着用に留意していただければ、遠くから来られて十五分や三十分しか会えないということはないようにし、年齢制限なくお孫さんとも面会して元気をもらえるように変更いたしました。これは簡単なように聞こえると思いますが、医療界の常識からすれば結構大胆な試みです。特に、感染症を持ち込む可能性が高い十二歳未満の小児は入院病棟へ入れてはならないというのは、昭和の時代に欧米先進国から日本に導入された国際的ルールだったのです。私が生まれた昭和三十年には、日本国内で麻疹で一万人が亡くなった推計が残っております。百日咳や髄膜炎・肺炎、あるいはロタウイルス腸炎（当時の病名は乳児仮性コレラ）でも亡くなっていました。と

ころが、最近十数年で小児の予防接種が著しく進歩し、子どもたちはそのような強い感染症にかからなくなっています。今の子どもたちは「タチの悪い感染症」にはかかりにくいのです。そのような背景に鑑み、当院スタッフの理解を得て面会の年齢制限を撤廃いたしました。入院された場合にもお孫さんから元気をもらってください。もちろん、コロナとかインフルエンザの流行期には期間限定で対応を変えることになると思いますが、その点はご理解ください。

③外来での後払い制度導入

外来での料金計算にはそれなりの時間が必要になります。病気の種類はもちろんのこと、健康保険の種類、当日した検査の種類、使用した医薬品・医療材料の種類、などによって細かく計算しなければなりませんので、すごく時間がかかる場合が多いです。もちろん、診察だけであれば、複雑な計算なしで簡単に終わる場合もあります。いずれにしても、患者さんには来院から診察や検査が終わるまでにそれなりの待ち時間を強いているため、診察が終わってから最終段階の計算の時間は格別長く感じられると思います。会計待ち時間短縮対策として、四月から診察終了後に会計待ち時間ゼロで帰れるように「外来料金後払いシステム」を導入しました。すでに多くの方に利用していただいておりますが、あらかじめクレジットカードを登録しておいて、来院時に今日の受診は後払いでと画面にタッチしておくことで、後日クレジットカードから引き落とされるとともに、明細や領収書は

スマホやパソコンから確認できますし、自宅でプリントアウトできます。後日病院に來られた時に、再来受付にある器械でプリントアウトして持ち帰ることも可能です。より多くの患者様にご利用いただき待ち時間の短縮に繋がるよう努めますので、ご要望の際は外来受付周辺の担当者にお聞きたいだけ幸いです。

今回は上記三点について新規の取り組みとしてご紹介いたしました。これらの他にも新病院効果というべきものはたくさんありますが、最も大きな効果は難渋していた職員確保に現れているように思います。ハローワークで募集しても応募者はいなかった状況が少しずつ改善されつつあります。病院は年中無休の職場であり、夜勤もあつて従事してもらえない人材の確保はどの病院でも大変です。とりわけ急性期病院で働いてくれる方の確保は難しい時代です。引き続き環境整備に努力しながら、適切な人材の確保に努めたいと思います。

最後になりますが、二〇二五年秋現在、旧施設の取り壊し工事が進んでおります。そこを患者駐車場にする予定になっておりますので、問い合わせで最も多い駐車場不足の件については、今しばらく診察時間の調整や入院患者さんの駐車スペースを控えていただくことなどで対応しております。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



撮影場所／霧島医療センター3階デイルーム

救急外来のご紹介

救急科医長 政所 祐太郎



今回は霧島医療センター救急外来の紹介をさせていただきます。救急外来は二〇二五年二月の新病院移転に遅れること三ヶ月ほど経過した五月中旬よりリニューアルされた新救急外来フロア（七床の救急初療室）で診療を開始いたしました。救急科医師による救急車対応から、各診療科医師による専門的治療を要する緊急患者さんの初期対応を行なっています。

救急外来を主に担当する救急科医師は二〇二五年七月から常勤五名体制となり、救急患者のトリアージ／初期治療を行い、各診療科への専門治療に繋げる役割を担っています。また始良伊佐医療圏で唯一設置された高度急性期病床の一つであるハイケアユニットで対応が必要な重症度および緊急度の高い救急症例の応需およびその後の入院管理を行える体制整備に向け診療体制整備に努めています。また、地域の周辺病院で診断のついた／疑われた疾患の専門的治療が必要な患者様については直接各専門科医師が初療から介入し迅速な入院治療、手術へ繋ぐというような医療の提供も行なっています。そのような重症／緊急対応をするために、救急外来では医師だけではなく様々な職種が協力して活躍しています。内科系から外傷救急、軽



症から重症まで幅広い疾患に的確かつ迅速に対応する救急外来看護師、消防との連携／ホットライン対応／転院搬送業務を担い円滑な救急医療提供に奮闘する院内救命士、救急医療に関する様々な物品補充／患者搬送／補助業務をテキパキこなすナースエイドと欠かせない存在が集結しています。

当院は周辺地域住民から、広くは始良伊佐医療圏の皆様まで、二十四時間三百六十五日安心して暮らせる医療体制を提供する核となる病院となることが求められていると思います。昨今の救急医療においては地域内のそれぞれの病院が独自に頑張るのではなく、地域の医療ニーズを把握した上で、地域の中で病院ごとの役割分担を明確にしていくことが求められています。救急医療の核となる当院を中心に病院、消防、行政などの関係各所と共に良い医療提供体制の構築に向けて尽力していきたいと思っております。地域医療機関や市民の皆様におかれましては地域の救急医療に関して現在どのような不安があり、どのような病院があったら安心できる、というような声がありましたら是非教えてくださいいただければと思います。

今後、旧病院の解体工事を経て救急車の新搬入口の設置ともしばらく工事は続きます。工事時間中はまだご不便をおかけすることもあると思いますが、フルオープンに向けて準備を進めていきますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

霧島医療センター 外来フロアマップ





PET-CT がん検診 はじめました



新病院の開院とともに **PET-CT 装置** が導入されました。

PET-CT 検査は **県内数施設のみ** で実施されており鹿児島市以外の病院での導入は **当院が初** となります。

当院では6月より検診を目的とした『**PET-CT がん検診**』の受付を開始しました。

PET-CT 検査は全身の撮影を **一度に行う** ことができ比較的 **小さな腫瘍の描出** が可能です。

PET-CT 検査と血液検査等の検査を組み合わせることで自覚症状のない **初期の悪性腫瘍の発見** が可能となります。

※ 100% 発見できるものではありません。

PET-CT がん検診では全身の PET-CT 以外に **血液検査・腫瘍マーカー・便潜血** なども併せて検査いたします。

費用は **132,000 円** (税込) となります。

PET-CT がん検診利用者には今年度に限り **関平鉱泉水 500ml×3 本プレゼント** しております。(検査後は PET 薬剤を体外に排出させるために積極的な飲水をご案内しています。)

ぜひこの機会に一度 PET-CT がん検診を受けてみられてはいかがでしょうか？



お問合せ
ご予約は

霧島医療センター
健診事業課

TEL.0995-42-1171
(平日 9時～17時)



〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地

霧島医療センター

TEL 0995-42-1171 (代表) FAX 0995-42-2158

受付時間 8:30～11:00 診療時間 8:30～17:30 休診日 土・日・祝・年末年始

↓ 職員募集中 ↓

Instagram



@KIRISHIMA_MEDICAL_CENTER

看護部Instagram



@KIRISHIMAMC_JOBOFFER

ホームページ

